

特集

- ◆ JR四国のホテル事業
- ◆ 空き家等再生事業



JR

JR四国

NEWS

5

2026

Monthly Picks 今月の注目情報!

「藍よしのがわトロッコ」好評運転中!延長運転も!

吉野川沿いを走る徳島線の観光列車「藍よしのがわトロッコ」は、5・6・8・9月に各月1日間限定で「大歩危区間」への延長運転を実施しています。詳細はこちらから

延長運転では、美濃田の淵に代表される穏やかな吉野川の流れから、深谷美が迫る秘境・大歩危へと景色が一変。吉野川が見せる“二つの表情”を、窓のない開放的なトロッコ列車でじっくり楽しめる、特別な旅です。ぜひこの機会に「藍よしのがわトロッコ」、「藍よしのがわ大歩危トロッコ」にご乗車ください。



Featured

特集①

全国でも選ばれるホテルチェーンを目指し成長する、 JR四国のホテル事業

ホテル事業 の成長

JR四国グループのホテル事業は、1993年の「JRホテルクレメント徳島」開業以来、四国とともに歩み続けてまいりました。私たちは「安心・快適」と「その土地ならではの魅力」の両立を大切に、交流人口の拡大と地域活性化に貢献する宿泊事業を展開しており、JR四国における非鉄道事業の中核を担う規模に成長しています。

JR四国グループのホテルの紹介

ホテル運営を担う(株)JR四国ホテルズでは、フルサービスの「JRホテルクレメント」、宿泊主体型の「JRクレメントイン」「道後やや」の計8ホテルを運営しています。四国内で培ったおもてなしの心と運営力で、四国のみならず全国で選ばれるホテルチェーンを目指し、積極的な新規出店に取り組んでいます。

※「四万十の宿」は、JR四国グループの四国開発建設㈱の運営です。



JR四国グループのホテルの魅力

(株)JR四国ホテルズのホテルブランド「クレメント」の由来である「温かで、穏やかな」対応を基本コンセプトに、心のこもった、上質なおもてなしと快適さを提供しています。とりわけ、朝食には力を入れており、各ホテル魅力ある朝食を提供しています。

例えばJRホテルクレメント高松では「一日の始まりに四国をめぐるクレメントの朝ごはん」をテーマに、香川県をはじめとする四国の郷土料理として、高知県「鯉のたたき」、愛媛県「鯛めし」、徳島県「フィッシュカツ」、香川県「讃岐うどん」や「あん餅雑煮」などの提供に加え、出来たてを楽しめるライブキッチンも備え、風光明媚な瀬戸内の島々を眺めながら朝のひとときをお楽しみいただくと好評いただいております。他のホテルについても、それぞれ工夫を凝らした朝食を提供しておりますので、是非一度ご宿泊いただき、ご賞味くださいませ。



Featured

特集②

地域資源を生かし新たな価値を創出する、 空き家等再生事業

しずく by 4S STAY (愛媛県今治市大三島) 3月17日開業

しまなみ海道の中間地点大三島にある、一棟貸し宿。2棟ある客室は少人数からグループまでのご利用まで幅広くご利用いただけます。サイクリストのための駐輪スペースも完備。島泊の拠点に絶景広がるリフレッシュ旅へお出掛けください。



波音 by 4S STAY (香川県さぬき市津田) 4月23日開業

築113年。元角打ち兼住宅を改装。大正期の趣を感じられる内装で、中庭や一部客室専用のお庭もあります。ラウンジや物販コーナー等共用部分も充実。ウラツダエリアの「まちやど」へ。少し非日常の宿泊体験をお過ごしください。



■ 今後の新規出店

新築 岡山新ブランドホテル(客室177室/2027年春開業予定)

絶好のロケーションを誇る岡山市駅前町再開発により整備されるホテル棟に、新たなブランドで出店します。全室20㎡以上のゆとりある客室、温浴施設(人工温泉)・宿泊者専用ラウンジ・フィットネスルームを備え、岡山の風景やこだわりの食を生かした「上質な旅時間」を提供します。

新築では四国外初出店であり、今後全国で選ばれるホテルチェーンになるための重要な足掛かりとなります。ぜひご期待ください。



リブランド JRクレメントイン高松兵庫町(客室191室/2026年7月1日開業予定)

高松市内の中央通りに面した兵庫町商店街入口にてリブランドオープンを予定しています。共用部、客室全室をリノベーションし、ダイニングや会議室を備えてお客様をお迎えします。JRホテルクレメント高松・JRクレメントイン高松とあわせ3ホテル713室体制で、観光からビジネス、研修や会議、イベント利用まで幅広い需要に応えます。

■ JR四国グループのホテルの今後

これからも私たちは、岡山で立ち上げる「新ブランドホテル」や「JRクレメントイン」、「やや」といった宿泊主体型ホテルブランドを成長エンジンに、中四国エリアを中心に店舗と運営力の磨上げを進め、四国外でも選ばれるホテルチェーンを目指してまいります。四国で培ったおもてなしを全国へ。JR四国グループのホテル事業は、質と量の両輪で、確かな成長を続けていきます。

担当者の想い

私たちは「また泊まりたい」と思っただけの良質なホテルを目指し、日々改善を重ねています。四国で培った「おもてなしの心」を強みに、全国のお客様に選ばれるホテルチェーンへ。JR四国グループのホテル事業は、これからも四国とともに挑戦を続けていきます。ぜひ皆様のご利用をお待ちしております。

事業開発本部 児山社員、井上社員、梶谷社員、濱田社員



JR四国では、古民家・空き家・空き店舗等を活用した宿泊施設「4S STAY」を展開しております。地域に眠る使われなくなった建物に新たな価値を吹き込み、海・山・川・町など、四国の多彩な自然と文化を体感できるロケーションに厳選し、旅を通じて地域とのつながりを創出しています。今回は、2026年開業の3店舗をご紹介します。

■ あかり by 4S STAY

(愛媛県喜多郡内子町)6月21日開業予定

国の重要文化財・内子座の隣にある住宅を改装。全3室ある客室は、3点独立の水回りと古民家ならではの落ち着いた内装が特徴。内子の町歩きや南予エリアへの旅の拠点に、くつろぎの「あかり」に帰りませんか？



担当者の想い

「4S STAY」では四国ならではのロケーションや、物件それぞれの趣を活かしながら、お客様に快適にお過ごしいただける施設づくりを行っております。同じ「4S STAY」という名前でも、施設ごとに異なる特徴を持たせており、複数の施設をご利用いただくことで、それぞれの違いや魅力を感じていただけます。四国を「暮らすように旅する」拠点として、ぜひ「4S STAY」をご利用ください。

事業開発本部 浅野社員





沿線通学生
寄稿コーナー
第15回

MY STATION

愛媛大学

このコーナーは四国の通学生のみなさんに鉄道に親しみをもってもらいたいと企画しました。



最寄駅 松山駅

たんばら
チーム丹原 社会共創学部 4年

水資源に恵まれない丹原町で育つ幻のレインボーレッドキウイ ～灌漑に隠された人々の知恵物語～



JR四国と四国の4国立大学は、2017年9月に四国の地域振興・観光振興・人材育成について連携協力の協定を締結し、地域活性化につながる取り組みを進めてまいりました。連携事業の一環として、各大学の学生が地域資源の発掘・調査を行い、考案した観光に関する企画をJR四国が旅行商品として市場展開を行う「地域観光チャレンジ」に取り組んでいます。今回は、「地域観光チャレンジ2025」に参加された愛媛大学の学生の皆さんに寄稿いただきました。



■「チーム丹原」で企画したツアーの内容は？

山本 咲成さん

愛媛県西条市丹原町を舞台に、生産量日本一を誇るキウイの魅力と地域の水資源について体感していただくことを目的としてツアーを企画しました。西条市は「うちぬき」と呼ばれる地下水で知られていますが、丹原町にはうちぬきがなく、灌漑によって水を確保しながら農業が営まれてきました。本ツアーでは、渓谷やダムなどの自然環境を通して、水資源と農業の関わりについて学んでいただきます。

また、地域特産であるキウイの魅力を実際の体験を通して感じていただける内容となっています。グリーンキウイの収穫体験や、収穫したばかりのキウイと追熟したキウイの食べ比べを行い、収穫から食べ頃までの過程や味の違いを楽しんでいただきます。さらに、希少品種であるレインボーレッドキウイを使ったジャム作り体験も実施し、地域の農産物を加工して楽しむ魅力もお伝えします。

水とキウイをテーマに、自然・農業・食のつながりを感じながら、丹原町ならではの魅力を知っていただけるツアーとなっています。

■地域観光チャレンジで経験したことや学んだ内容は？

松本 彩花さん

チームで地域の魅力を活かした観光ツアーを考える貴重な経験をさせていただきました。現地調査や地域の方々へのヒアリングを通して、外から見るだけでは気づけない地域の課題や強み・知恵を知ることができました。また、企画を形にする過程では、メンバーと意見を出し合いながら一つの方向性にまとめる難しさや面白さを実感しました。今回金賞をいただいたことは大きな自信になりましたが、それ以上に、地域の魅力を深く理解し発信することの大切さを学ぶ機会となりました。この経験を今後の学びや活動にも活かしていきたいです。

山下 華音さん

本プログラムを通じ、「地域の真の魅力は現場の対話の中にこそある」ということを深く学びました。当初、データや文献を基に観光プランを練っていましたが、実際に現地に足を運び、住民の方や事業者の方々の生の声を聞くことで、外部からは見えなかった歴史的背景や、地域の方々が守りたい誇りに触れることができました。独りよがりな調査ではなく、地域との共創がいかに不可欠を痛感しました。また、限られた資源の中で観光客を惹きつけるための情報発信の難しさにも直面しました。ターゲットを絞り、独自のストーリーを構築する過程で、多角的な視点から物事を捉えることの重要性にも気づかされました。この観光ツアー企画を通して得た学びや貴重な経験を、今後の活動にも活かしていきたいです。

■列車にまつわる思い出はありますか？

佐伯 悠真さん

就職活動で、何度もJRの列車のお世話になりました。面接前は緊張で頭がいっぱいでしたが、車内の清潔で落ち着いた雰囲気、いつも自然と気持ちが和らいでいきました。車窓に流れる景色を眺めながら志望動機を見直したり、静かな時間の中で自分と向き合ったり。列車の中は、私にとって大切な準備の場でもありました。また、地域観光チャレンジのツアー造成では、班員と何度も列車に乗り合わせて西条市へ向かいました。現地調査の帰り道、車内で感想を語り合った時間は、今となってはかけがえない思い出です。列車はただの移動手段ではなく、人との縁や自分の歩みを静かに支えてくれる存在だと感じています。

学長からひと言

愛媛大学 仁科 弘重 学長

愛媛大学は、「地域とともに輝く大学」の理念を掲げ、「地域における知の拠点」として、地方創生、地域産業イノベーションに貢献するとともに、文系から理系まで幅の広い学部で有為な人材を育成しています。JR四国との連携事業である地域観光チャレンジは、学生が地域の魅力を深く理解し、自らの創意で新たな価値を生み出す経験を通して、学びを社会へとつなぐ重要な一歩となっています。本学は、今後も産官学民連携を通じて、学生の挑戦を力強く後押ししてまいります。



JR四国の先輩からメッセージ

宇和島駅 三木 大知 社員 (2023年度卒業)

私は、宇和島駅で指令員や改札、操車の業務をしています。大学では、地域観光チャレンジで西条市の水と農作物を題材にツアーを作りました。そのツアーがきっかけで、新たな四国のお宝ツアーや、「めりけんや」の新メニュー開発にも繋がったことで、活動を通して地元四国の魅力を発信できたと思います。愛媛大学で得た学び・経験を活かして、皆さんが四国の未来に向けて活躍されることを心より願っています。



ABOUT THE SCHOOL **愛媛大学** ■〒790-8577 愛媛県松山市道後樋又10-13

■開設年度:1949年

■学生数:学部 8109人、大学院 1291人 合計 9400人(2025.5.1時点)

「チーム丹原」で企画したツアーは、2026年秋ごろの実施を目指して準備を進めています。詳しい発表まで、ぜひ楽しみにお待ちください。

列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ

JR四国電話
案内センター ☎0570-00-4592

受付時間(年中無休)
8:00~19:00
通話料がかかります。

(お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。)



シコクを、おトクに。スマエキで。

「スマエキ」はいつでもどこでもきっぷが買える、JR四国のチケットアプリです。



JR四国は国土交通省が主体で全国のJRや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

発行:四国旅客鉄道株式会社 広報室
〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番33号